

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

全会一致！

昭和 57 年 10 月 8 日
議 決

① 巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもつても、もはやその拡大を止められない事態となつている。

② ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。

③ 日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。

各文章の構成について

① 現状の説明

米ソ
戦略兵器制限交渉 } 核兵器保有国の緊張感
状況改善への取組みも、それだけでは止められない状態

ポイント

- ・現在はアメリカ、ロシア以外にも、イギリス、フランス、中国など核兵器を保有している国々は増えており、核の脅威は増している
- ・戦略兵器削減交渉(START)から新戦略兵器削減条約(新START)へ引き継がれており、「米ソ」と同じように文言が古くなっている。

② 核兵器の恐ろしさ

全人類とその文明の滅亡

ポイント

- ・「核の冬」の理論を先取りした宣言
核戦争が起ると地球は急速に冷えて、氷河時代よりなお寒い「核の冬」が訪れる文明は崩壊し、人類は絶滅するだろう
- ・地球規模の広い視野 (Think globally)
- ・全人類の生存を求めている

③ 平和が市民生活の基本という理念と日野市が宣言する意義

平和が市民生活の基本であるとの理念

日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する

ポイント

- ・平和でなければ市民生活は成り立たない、市民生活の中にこそ平和がある
- ・私たちはいつまでも核兵器廃絶を訴え続ける宣言
- ・日野市として、日野市民として行動することを宣言
- ・足元を見つめる大切さと自ら行動する大切さを伝えている(Act locally)

